

平成 26 年度 みたけ台小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

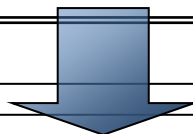
- ・ Y-P の調査を行い学級経営案へ反映したり、『子どもの社会的スキル横浜プログラム』実践の充実を図ったりして、自尊感情・自己有用感を育成します。
- ・ 様々な教育活動を通して、規範意識や人権を尊重する心、社会参画意識などを育てていきます。
- ・ 人とのかかわり、交流活動を大切に、異学年交流、地域交流、幼稚園、中学校との交流を盛んにし、豊かな人間性を育てていきます。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

- ・ きまりを守り、目標に向かって頑張ろうとする素直で前向きな気持ちをもっている。
- ・ 落ち着いて話を聞いたり、あいさつを進んでしたりすることが苦手である。
- ・ 物事を最後までやり遂げた達成感を体験している子が少ない。
- ・ 人とのコミュニケーションの取り方に、課題を抱えている子が多い

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・ 全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。
- ・ 縦割り活動や、幼稚園、保育園との交流を通して、自尊感情や自己有用感を育てる。
- ・ 地域の環境や人材を生かした活動を小中一貫して取り組み、思いやりの心や協力する心を育てる。



指針1「道徳の時間」の充実

- ・ 全学級の道徳の授業を家庭・地域（年1回以上）に公開する。
- ・ 授業公開後、アンケートをとり、道徳の時間の指導に生かす。
- ・ 家庭や地域での様子（例：あいさつ等）についてアンケートを実施し、子どもの実態把握を行い、道徳の時間に生かす。 【視点1】

指針2「体験活動の充実」

- ・ 「児童会活動」「クラブ活動」「縦割り集団活動」「幼稚園・保育園や中学校との交流」などの「異年齢集団活動」をより自主的、意欲的に行うことができるようにする。【視点3】

指針3「確かな人権感覚・意識の育成」

- ・ 子どもの社会的スキル横浜プログラムの指導プログラムを教育課程の中に位置づけて実施するなど、意図的計画的に子どもの社会的スキルの系統的な育成を図る。
- ・ Y-P アセスメントの支援検討会の実施により、学級課題の改善や子ども個人の課題の改善に向けて校内の指導体制を整え、教師集団が「だれもが安心して豊かに」過ごすことができる学級風土づくりへ向けた協働ができるようにする。 【視点7】
- ・ 必要な子どもに対して個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成する。
- ・ 授業や学校生活での配慮、児童指導での活用を図る。 【視点8】